



衆院選挙

“地方の現場の声を聞け” 「不安」置き去りの 超短期解散を問う

高市首相は通常国会冒頭で衆院を解散し、1月27日公示・2月8日投票の超短期総選挙に踏み切ると表明しました。「国民の審判」を掲げますが、「※TMレポートにみられる統一教会と自民党の底知れぬ癒着」「高市首相自身の政治と金」など疑惑の数々の国会論議を避け、支持率が高いうちに政権延命を図る党利党略が透けてみえます。地方の現場にあるのは、解散で先送りできない切実な課題です。

若者が示した「不安」というサイン

1月11日の薩摩川内市「二十歳のつどい」会場入口で、井上勝博市議と党員が若者に「最近の世界のニュースをどう感じていますか？」と尋ねるシール投票を行いました。65人が協力し、「不安を感じる」ことが多い「34人で、「不安」が最多でした。

「初めての女性首相に期待」という声もありましたが、「世界が戦争になりそう」「物価が高い」「税金が高い」「賃金が少ない」「なんとなく不安」など、暮らしと将来への切実な思いが寄せられました。若者の不安は、政治が向

き合うべき現実です。

物価が介護を揺さぶる―現場は限界

物価の高騰は市民の家計を直撃しています。その影響は介護の現場にも及び、地域の基盤を揺さぶっています。議員との意見交換会では介護施設事業者が、コスト上昇で赤字経営に追い込まれ、「利用者へのことを考えると、やめるにやめられない」と痛切に訴えました。現場の努力と責任感に頼り切ったままでは、いずれ地域の介護が立ち行かなくなります。

中小業者の悲鳴と交付金依存のゆがみ

中小業者との意見交換会では、商店街の衰退、事業承継の困難が語られ、「この先も商売が続くのか」と不安が相次ぎました。とくに深刻なのは人手不足です。甕島では電気工事から、業績は悪くないのに作業員が確保できず、移動負担も大きい実態が報告されました。郡部の農林業・建設業でも担い手不足が続く、外国人材の活用が進む一方、老朽空き家ばかりで住居確保が難しく、公営住宅の運用を柔軟にしてほしいとの要望が出されて

います。甕島ではフェリー運航の乱れが生活と商売を直撃し、連絡交通の改善が求められました。建設業からは、合併後の入札制度が現場に合わず、行政からの調査・設計・見積依頼が「実費ゼロのサービス」になっているとして制度見直しが提起されました。所有者不明の老朽建物が放置され、景観や安全、観光にも悪影響が出ているという指摘もあります。

さらに薩摩川内は原発交付金に依存する構図のもとで、豪華な箱モノが目立つ一方、学校給食費の無償化や補聴器購入補助など、隣接自治体で進む住民サービスが遅れがちです。見栄えの

こちらくらしの相談所
(No. 637)
携帯 080-3996-0237 (井上)
なんでもご相談ください。



無記名アンケートの番号が不安―市に確認

市内の65歳以上に送付されたアンケートについて、「無記名なのに用紙と返信用封筒に同じ番号があり、個人が特定されないか不安」との相談が寄せられました。そこで井上勝博市議が介護福祉課に確認。電話での回答は「番号は事業上の整理番号で、個人は特定できない。プ

ライバシーは守られる」というものでした。一方「アンケートが届いていない人もいます」との声もあります。市民が安心して協力できるよう、番号の目的と「特定されない仕組み」、対象者の選定方法や送付範囲を、誰にでも分かる形で周知することが求められます。

この選挙で問うべきこと

若者の「不安」、介護現場の悲鳴、中小業者の苦境。薩摩川内の声

は、政治の優先順位を「暮らし最優先」へ転換せよと迫っています。国会論議から逃げ、超短期選挙で争点をぼかす政治では、地域の不安は解消しません。物価高対策と賃上げ、社会保障の立て直し、生活密着の施策を前に進める政治へ―総選挙は、その転換を迫る審判の

場です。
※TMレポート（TM特別報告書）とは、旧統一教会内部で作成され、韓鶴子総裁（TM True Mother）に報告されたとされる文書です。自民党政治家との接触や選挙支援など、教団の政治活動の実態をうかがわせる資料として注目されています。

共産党調査 内部告発で発覚した浜岡原発不正 規制委は川内原発も含め調査を

中部電力浜岡原発3、4号機の「基準地震動」（耐震設計の土台となる地震の揺れ）の

評価で、データが意図的に操作されていた問題が明らかになりました。とりわけ深刻な

は、この不正が内部告発によって発覚したと

（二面に続く）

(二面から続く)

いう点です。原子力規制委員会が審査の過程で不正を見抜けず、通報がなければ不正が見過された可能性がある。規制の信頼に關わる重大問題です。規制委はこの事実を重く受け止めるべきです。

1月20日、日本共産党の小池晃書記局長と辰巳孝太郎衆院議員は国会内で記者会見し、データ算出の委託を受けた事業

者が他の原発にも關与している疑いがあるとして、全原発の調査を求めました。公開情報、地質調査の委託先として複数の会社名が申請書類に記載され、他原発にも同様の社名が見られるといひます。もし一部の「原発コンサルタント」が電力会社の意向に沿う計算結果を導く構造があるなら、浜岡だけでは済みません。

ところが規制委トップは「水平展開はし

ない」として、他原発の調査に否定的です。しかし、内部告発でしか不正が表に出なかつた以上、「他は大丈夫」という前提自体が成り立ちません。調査をしないまま安全を語ることではきず、運転中の原発も含め、必要なら一旦止めてでも検証するのが安全行政の責任です。

薩摩川内市には九州電力川内原発がありま

エプロンおばさんの簡単フッキング (691)



チンゲン菜と
ちりめんじゃこ蒸し

材料 (2人分)

チンゲン菜 2株、ちりめんじゃこ
25g、赤唐辛子(小口切り) 1/2 本分、
A (酒・ごま油 各大1、塩 1/3)

作り方

- ① チンゲン菜はそぎ切りにする。
- ② フライパンに①と、ちりめんじゃこ、赤唐辛子、Aを入れる。ふ

たをして弱めの中火にかける。煮立ったら弱火にし、2分ほど蒸し炒めにする。

No. 67 シネマ太郎の映画評と案内 ボディビルダー (2026)



隆々たる筋肉に
おおわれた鋼鉄のよ
うなからだ。腕には
太い血管が浮き、ブ
リーフが食い込むほ
どの尻の筋肉。こ
の青年の名はキリア
ン・マドックス。ア
メリカの地方の小さ
な町に祖父とふたり
で暮らし、スーパ
ーの店員として週3日
のシフト勤務。ベト
ナム戦争に従軍した
勇敢な祖父を誇りに
思っています。まじ
めな勤務態度にみえ
るのですが、実はそ
うではなく、頭の中
に常にあるのは彼の
夢。どうしても実現
したいことがあるの
です。それはボディ
ビルダーとしてコン
テストで優勝し、業

ます。規制委は、川内
原発も含め、地震動評
価の算出過程、委託先
検証体制を徹底的に調

査し、その結果を住民
に説明すべきです。再
稼働や運転継続の前
に、まず検証。内部告

発が突きつけた現実か
ら目を背けてはなりま
せん。

界誌の表紙を自身
の筋肉美で飾るこ
と。そのために、う
なり声をあげながら
の激しいトレーニング。
1日800キロ
カロリーの食事。部
屋いっぱい貼られ
た優勝者の写真で
筋肉を自分と比較
…。尋常ではないの
めり方です。純粋な
青年なのですが、柔
軟さのない彼は次
第に周囲から孤立
し、自身も心を蝕ま
れていくのです。あ
こがれのボディビル
界のスターに熱烈な
ファンレターを送り
続けるのですが、反
応はなし。ところが
ある日、願いが通じ
たのか、思いもかけ
ないことが起こりま



ボディビルダー



ブルーボーイ
事件



CROSSING
心の交差点



←中俣先生のブログはこちら

中俣先生のつれづれなるままに (822)



昨年暮れ、石ころの女の子に会い、買い物袋の女性に声をかけられ、児童クラブの保護者の方に「かつさん」と呼ばれ、足は地についていて、何かきつといいことあるぞと、フワフワした温かい気持ちでいると、なんと、北九州文学協会の詩の部門で「大賞」を頂いたのだ。びっくりもし、うれしかった。祝いのメールが全国からといつても、関東と九州から、ドサツタといつても5通ほど届いた。かつて、赤旗に詩が載ったとき、感動されたMさんもきつとビックラされたことでしょう。へたくそでも続けるものだな。また、14日には、県内の詩や小説を書く文学愛好家が集まって、ささやかなお祝いもしてもらった。といつても本筋は、『詩創』発行60号のお祝いが主で、私の祝いは豚のしっぽだった。そしていいことに、年明けに、息子の史郎さんから初めてお年玉をもらった。娘の亜紀さんからは、ちょっと古いのですけど、防寒着が届いた。なけんと、会社から旦那さんが頂いたものだという。年明けにはそれを身に付けて初詣に出かけた。昨年の2月、3月は死にかけた手術を二回も受けたが、それを乗り越え、生きて来た。やっぱり生きていていいことがある。世の中では現役世代と高齢者を分断し、高齢者を迷惑だとばかり排除しようとする動きもあるが、どうこい、生き抜いて、現役世代もリタイア組も、楽しく生き生きとできる社会を作りたい。そのために、まず軍拡反対の旗の下、今年も選挙に生きていきたい。(詩愛好家)